

公益社団法人 日本水産学会  
令和4年度第2回理事会議事録

1 開催された日時 令和4年4月23日(土)13時00分～14時45分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数 17名、定足数 9名

4 出席理事総数 15名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二、吉崎悟朗、潮 秀樹、八木信行、廣野育生、山下 洋、  
横山芳博、佐野元彦、越塩俊介、落合芳博、小島隆人、平塚聖一、  
澤山茂樹、野田幹雄、大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男、舞田正志、野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

横田賢史、小山寛喜(14時02分途中退席)、澤山英太郎、長阪玲子、壁谷尚  
樹、團重樹

7 オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

神尾道也、加藤豪司

8 議案

決議事項

第1号議案 「学会事務局パソコン環境の保守」の件

第2号議案 「世界水産学協議会の会費の支払い」の件

第3号議案 「後援」の件

第4号議案 「入会承認」の件

報告事項

① 令和4年度第1回理事会以降の職務執行状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及びWeb会議用装置からなるWeb会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及びWeb会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「学会事務局パソコン環境の保守」の件

佐野財務担当理事から、事務局のパソコン環境の保守管理契約についての原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第2号議案 「世界水産学協議会の会費の支払い」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第3号議案 「後援」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の後援を可決した。

① 日本学術会議公開シンポジウム「沿岸環境の変化と人間活動－10年後を見据えた課題とその対応－」

主 催 日本学術会議地球惑星学委員会地球・人間圏分科会，地球惑星科学委員会 SCOR 分科会

協 賛 日本地球惑星科学連合 他 6 団体

日 程 令和 4 年 9 月 23 日

場 所 オンライン開催

希 望 後援

負担金 なし

第4号議案 「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、入会承認について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

① 令和4年度第1回理事会以降の職務執行状況

・会長

金子会長から、以下の報告があった。

1) 水産・海洋科学研究連絡協議会については特段報告事項なし。

2) 2023年度日本農学会シンポジウムテーマ募集について、応募する場合は6月30日までに学会事務局へ連絡するよう各理事に周知を行った。

・庶務関係

廣野担当理事から、以下の報告があった。

1) 資格喪失者（会費未納）の会費納入による退会への変更について。

中川忠彦（正会員，令和3年度資格喪失）

2) 令和4・5年度支部幹事の支部長指名について，各支部3名の支部幹事が指名された。

3) 令和4・5年度支部幹事の交代について。

東北支部 後藤友明〔逝去〕 巢山 哲〔選出〕

4) 下記の協賛、後援について、共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ3)を適用した。

① 第 22 回 マリンバイオテクノロジー学会大会

主 催 マリンバイオテクノロジー学会  
協 賛 化学工学会 他 25 団体  
日 程 令和 4 年 5 月 28 日・29 日  
場 所 オンライン開催  
希 望 協賛  
負担金 なし

② Underwater Technology 2023

主 催 IEEE Oceanic Engineering Society、IEEE OES 日本支部、  
東京大学生産技術研究所、東京大学地震研究所  
協 賛 海洋研究開発機構 他 16 団体  
日 程 令和 5 年 3 月 6 日～9 日  
場 所 東京大学生産技術研究所コンベンションホール（東京都目黒区）  
希 望 協賛  
負担金 なし

③ 令和 4 年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業

主 催 岩手県  
協 賛 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター 他 3 団体  
後 援 宮古市 他 38 団体  
希 望 後援  
負担金 なし

・ 企画広報関係

吉崎担当理事 特になし。

・ 財務関係

佐野担当理事から、令和 4 年 5 月 10 日に行われる総会の準備作業を行っていることが報告された。

・ 編集関係

潮担当理事から、Springer Nature との出版契約の更新契約書案の作成進捗状況についての説明があった。

・ 学会賞関係

山下担当理事から、5 月 27 日締切りの日本農学進歩賞受賞候補者の推薦募集を開始したことが報告された。

・ シンポジウム関係

落合担当理事から、現在のところ新規企画案は提出されていないことから募集を継続中であることが報告された。

・ 出版関係

大嶋担当理事 特になし

・ 水産技術誌監修関係

大嶋担当理事から水産技術の編集幹事が水産研究・教育機構水産技術研究所の下田会員に決まったことが報告された。

・ 国際交流関係

国際交流委員会委員長の廣野理事から、アメリカ水産学会からの招待に対し、世界水産学協会の副会長である佐藤秀一先生が日本水産学会の代表として学会大会へ参加する予定であることが報告された。また、イギリス水産学会への若手会員の派遣についてはコロナ感染対策のため見送ったとの報告があった。

- ・水産教育関係

山下担当理事 特になし

- ・水産政策関係

八木担当理事 特になし

- ・漁業・資源管理関係

小島担当理事 特になし

- ・水産利用関係

横山担当理事から、4月28日にオンラインで令和4年度第1回水産利用懇話会委員会を開催予定であるとの報告があった。

- ・水産増殖関係

佐野担当理事から、令和4年度第1回メール会議を開催中との報告があった。

- ・水圏環境関係

澤山担当理事から、水産環境保全委員会が主催する「相次ぐ海の異変ーベントス・付着生物から探る解明の糸口ー」というテーマのシンポジウムを5月21日にオンライン開催する予定であることが報告された。

- ・男女共同参画関係

金子会長から男女共同参画学協会連絡会の規定改正により、日本水産学会が正会員に復帰することになった旨の報告があった。

- ・水産学若手の会関係

潮担当理事から、若手の会の会員が自発的かつ積極的な活動を行っている旨の報告があった。

- ・社会連携関係

横山担当理事 特になし

- ・将来計画関係

越塩担当理事から、担当理事の交代に伴う業務引継ぎ資料をまとめているとの報告があった。

- ・北海道支部、地域連携関係

金子会長 特になし

- ・東北支部、地域連携関係

落合担当理事から幹事交代についての報告があった。

- ・関東支部、地域連携関係

小島担当理事から、3月に開催した春季大会の決算作業を進めていることが報告された。

- ・中部支部、地域連携関係

平塚担当理事 特になし

- ・近畿支部、地域連携関係

澤山担当理事 特になし

- ・中国・四国支部、地域連携関係

野田担当理事から福山大学で担当理事の交代に伴う業務引継ぎを行なったとの報告があった。

- ・九州支部、地域連携関係

大嶋担当理事から担当理事の交代に伴う業務引継ぎを行なったとの報告があった。

- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事 特になし

- ・財務検討委員会（特別委員会）

八木担当理事 特になし

## ② その他確認事項

### (1) 令和4年度定時社員総会資料の確認

廣野総務担当理事及び佐野財務担当理事から、令和4年度定時社員総会資料の説明があり、令和3年度事業報告及び会計報告、令和4年度事業計画及び予算案を出席理事全員で確認した。本件について以下の質疑があった。

金子会長「保有上限額を超過した場合にはどのような問題となるのか。」

佐野理事「コロナ感染症の影響によって活動が停滞したことが支出減の原因となっている。特殊な事情であるため、内閣府からの指摘等は特段受けていない。」

### (2) 委任状及び議決権行使書の回収について

廣野総務担当理事から、総会に関して正会員数が2,516名で総会の成立条件である過半数の1,259名の出席が必要となるが、4月23日現在提出されている委任状及び議決権行使書が736名分であることが報告された。

### (3) 理事、監事及び幹事の交代について

退任する会長、理事、監事及び幹事からの挨拶があった。

### (4) 次回の理事会について

廣野総務担当理事から、次回理事会は令和4年5月10日の総会終了後に対面とWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14時45分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和4年4月23日

公益社団法人 日本水産学会  
議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事